

製品名: ABL2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80584**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	ABL2
別名	ARG; ABLL; FLJ22224; FLJ31718; FLJ41441
遺伝子 ID	27.0
SwissProt ID	P42684
免疫原	大腸菌で発現した ABL2 の精製された組み換え断片。

背景

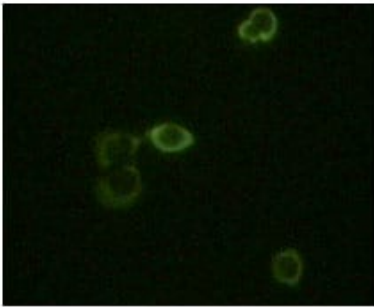
ABL2 (ARG、アベルソン関連遺伝子) は細胞質チロシンキナーゼであり、ABL1 と密接に関連しているものの、異なるタンパク質です。両タンパク質の類似性にはチロシンキナーゼドメインが含まれ、アミノ末端の SH2 および SH3 ドメインにも及んでいます。

す。ABL2 は正常細胞と腫瘍細胞の両方で発現しています。ABL2 遺伝子産物は、異なるアミノ末端を持つ 2 つの変異体として発現し、どちらも約 12kb の長さです。c-Abl は細胞質と核の両方に局在し、ヒト白血病に存在する 2 つの異なる染色体転座に関与しており、Bcr-Abl と TEL-Abl が生成されます。

研究分野

-

画像データ



ABL2 マウス mAb を使用したメタノール固定 HeLa 細胞の免疫蛍光染色。細胞質局在を示しています。